

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール 製品づくり・利用部門  
特別賞  
BokuMoku

製品等の名称	<p>「Re Kumano Project」 間伐材の中でも「あかね材（虫食い材）」を使用した家具作りやワークショップ</p>
製品・取組の概要	<p>私たちが活動する和歌山県では林業従事者の減少により、人手が入らなくなることで山が荒れ、貴重な地域資源である「紀州材」に影響が出てきています。「スギノアカネトラカミキリ」によって食害された木材「あかね材」など。そこで私たちは「地域の山や資源を守って行こう！」を共通の目標としてクリエイティブな発想で商品化するプロジェクトをはじめました。</p>
製品開発・取組のきっかけ	<p>熊野の森林は、木材価格の下落に伴い、林業従事者が減少し、伐採や枝打ちなど十分な管理がされないことから、「スギノアカネトラカミキリ」による食害が発生しています。</p> <p>これを「あかね材」といい、その被害が拡大しているのが現状で、強度や品質に問題がないとされながらも、見た目が悪いので売れない、売れないから山から人が離れると言う悪循環となっています。</p> <p>こうした状況の中、このままでは熊野の山が荒廃してしまうのではないかとこの思いから、「あかね材」に新しい価値を吹き込もうと地域の木に関わる事業者が「BokuMoku」プロジェクトを始動することとなりました。地域内の木に関わる植栽業者、家具店、デザイナーといった入口から出口までの事業者が集まり、プロジェクトチームを組織いたしました。</p> <p>また、こうした取組に賛同し、首都圏に在住の家具メーカーや空間プロデューサーにも参画頂いております。</p>
製品・取組の内容・特徴	<p>建築用材としては使用しづらいC級品、D級品の木材を家具やワークショップの材料として使用します。家具として使う場合には虫食い跡が見える部分に使用し、その木が持つ個性でデザインとして使っております。</p>
間伐材の利用量	<p>製材業者に市場や伐採業者から直接購入しております。間伐材の中でもC級品、D級品といわれる規格の木を集めております。</p> <p>まだ、立ち上げたばかりの団体なので利用量は20㎡くらいです。</p>
取組による効果等	<p>田辺市長が市長室テーブルに使用してくださり、訪問者に山の現状を説明してくれます。</p> <p>また、ワークショップ開始前に山林の啓発活動授業を行い、子供、保護者の方に木を使う必要性や山の手入れの大切さを説明しております。</p>
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>田辺市長室テーブル</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ワークショップ作品 木製間接照明</p> </div> </div>
連絡先等	<p>(住 所) 〒646-0028 和歌山県田辺市高雄1丁目20-33</p> <p>(担当部署等)</p> <p>(電話番号等) TEL : 0739-22-6100 FAX : 0739-33-9851 e-mail: bokumoku2018@gmail.com</p> <p>(URL) <a href="https://www.bokumoku.org/">https://www.bokumoku.org/</a></p>

評価コメント	<ul style="list-style-type: none"><li>○ これまで利用が避けられてきた虫食い材の見た目の悪さを逆手にとってデザインで克服。</li><li>○ ものづくりのプロジェクトによって多様な主体が連携して作られている。</li></ul>
--------	--